
三芳町
在宅介護実態調査報告書

令和5年3月
三芳町

目 次

I. 調査の概要	1
II. 調査結果	5
A 票 調査対象者について	8
B 票 主な介護者の方について	19
C 票 主な介護者への質問	25
自由記述	30

I. 調査の概要

調査の概要

(1) 目的

三芳町高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定にあたり、市民の皆様より介護予防に関するご家庭の実情やニーズ、ご意見等をお聞きするためのアンケート調査を実施しました。

(2) 調査期間

令和5年1月11日(水)～令和5年1月31日(火)

(3) 調査対象者

三芳町内に在住の65歳以上の高齢者の中から、無作為に抽出し、また、要支援認定を受けている方のうち、更新申請をした方を対象に、調査票を郵送いたしました。

(4) 配布数及び回収数

	配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
在宅介護実態調査	587件	358件	61.0%	357件	60.8%

※白紙回答 1件あり。

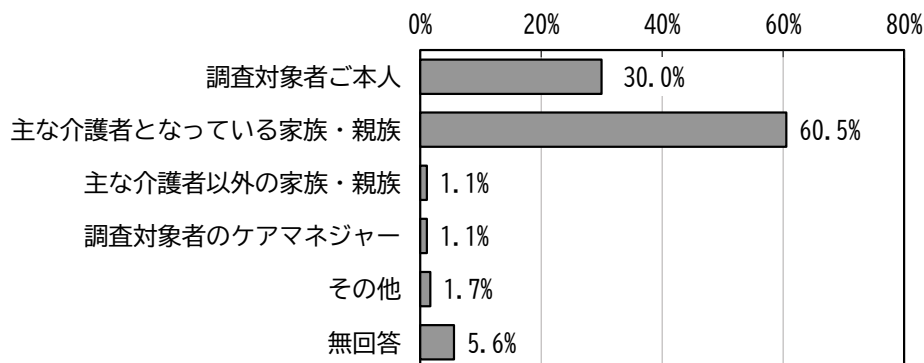
(5) 報告書の見方

- ・本報告書では、回答すべき箇所が回答されていないものは「無回答」として扱います。
- ・本報告書では、回答する必要のない箇所及び回答すべき箇所でないところを回答している場合は「非該当」として扱います。
- ・設問の構成比は、回答者数(該当設問での該当者数)を基数として百分率(%)で示しています。したがって、非該当者数は、構成比に含まれません。
- ・比率は全て百分率(%)で表し、小数点以下第二位を四捨五入し算出しているため合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答については、回答者数を基数として百分率(%)で示しています。したがって、合計値は100%にならない場合もあります。
- ・本報告書では、回答合計の表記を単一(○は一つ)回答は「合計」、複数(○はいくつでも)回答は「回答者数」としています。非該当処理が含まれる設問は「回答者数」と表記しています。また、割合を設定している項目名について、単一回答は「構成比」、複数回答は「比率」と表記しています。

II. 調査結果

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

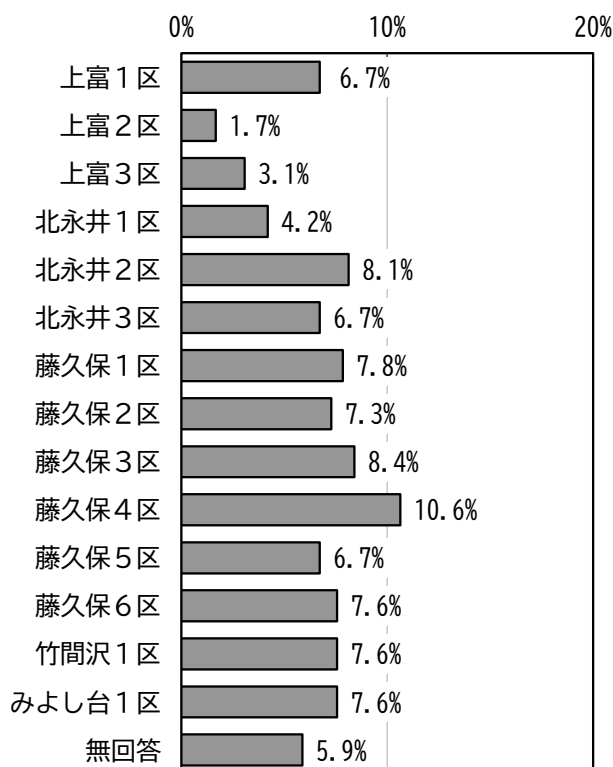
調査票の記入者については、「主な介護者となっている家族・親族」が60.5%と最も多く、次いで「調査対象者ご本人」が30.0%、「その他」が1.7%となっています。



項目	度数	構成比
調査対象者ご本人	107	30.0%
主な介護者となっている家族・親族	216	60.5%
主な介護者以外の家族・親族	4	1.1%
調査対象者のケアマネジャー	4	1.1%
その他	6	1.7%
無回答	20	5.6%
合計	357	100.0%

お住まいの行政区について、ご回答ください（1つを選択）

居住地区については、「藤久保4区」が10.6%と最も多く、次いで「藤久保3区」が8.4%、「北永井2区」が8.1%となっています。

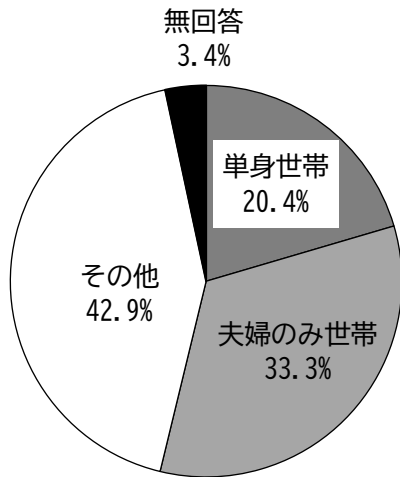


項目	度数	構成比
上富1区	24	6.7%
上富2区	6	1.7%
上富3区	11	3.1%
北永井1区	15	4.2%
北永井2区	29	8.1%
北永井3区	24	6.7%
藤久保1区	28	7.8%
藤久保2区	26	7.3%
藤久保3区	30	8.4%
藤久保4区	38	10.6%
藤久保5区	24	6.7%
藤久保6区	27	7.6%
竹間沢1区	27	7.6%
みよし台1区	27	7.6%
無回答	21	5.9%
合計	357	100.0%

A票 調査対象者について

問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

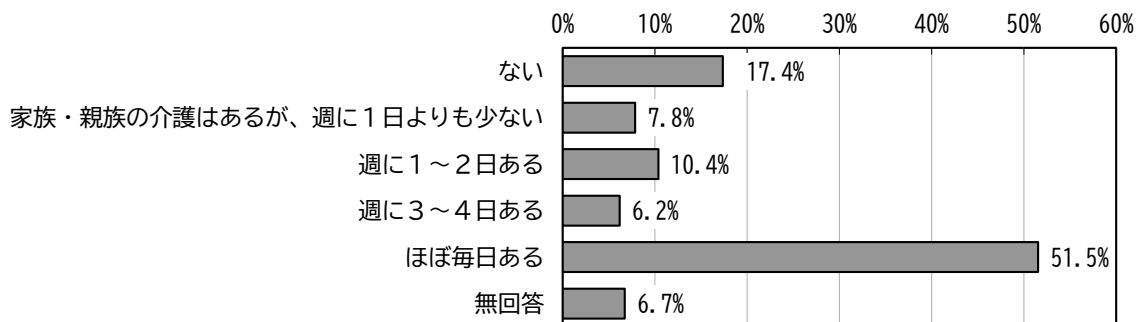
世帯類型については、「夫婦のみ世帯」が33.3%と最も多く、次いで「単身世帯」が20.4%となっています。また、「その他」が42.9%となっています。



項目	度数	構成比
単身世帯	73	20.4%
夫婦のみ世帯	119	33.3%
その他	153	42.9%
無回答	12	3.4%
合計	357	100.0%

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

ご家族やご親族からの介護については、「ほぼ毎日ある」が51.5%と最も多く、次いで「ない」が17.4%、「週に1～2日ある」が10.4%となっています。

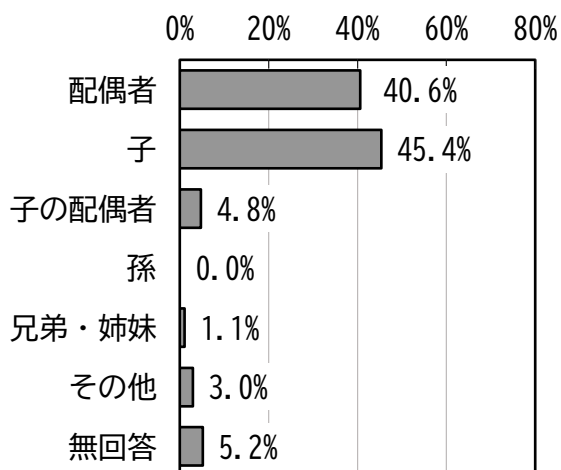


項目	度数	構成比
ない	62	17.4%
家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない	28	7.8%
週に1～2日ある	37	10.4%
週に3～4日ある	22	6.2%
ほぼ毎日ある	184	51.5%
無回答	24	6.7%
合計	357	100.0%

【問2で「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」、「週に1～2日ある」、「週に3～4日ある」、「ほぼ毎日ある」と回答した方】

問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

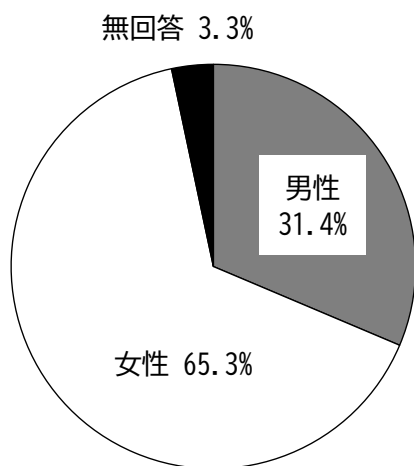
主な介護者については、「子」が45.4%と最も多く、次いで「配偶者」が40.6%、「子の配偶者」が4.8%となっています。



項目	度数	構成比
配偶者	110	40.6%
子	123	45.4%
子の配偶者	13	4.8%
孫	0	0.0%
兄弟・姉妹	3	1.1%
その他	8	3.0%
無回答	14	5.2%
回答者数	271	100.0%
非該当	86	
合計	357	

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

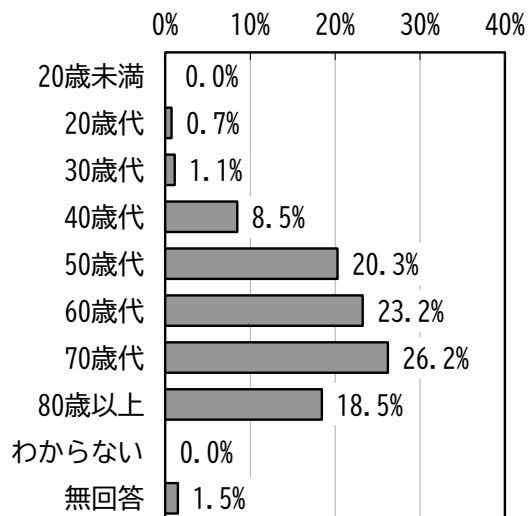
主な介護者の方の性別については、「男性」が31.4%、「女性」が65.3%となっています。



項目	度数	構成比
男性	85	31.4%
女性	177	65.3%
無回答	9	3.3%
回答者数	271	100.0%
非該当	86	
合計	357	

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

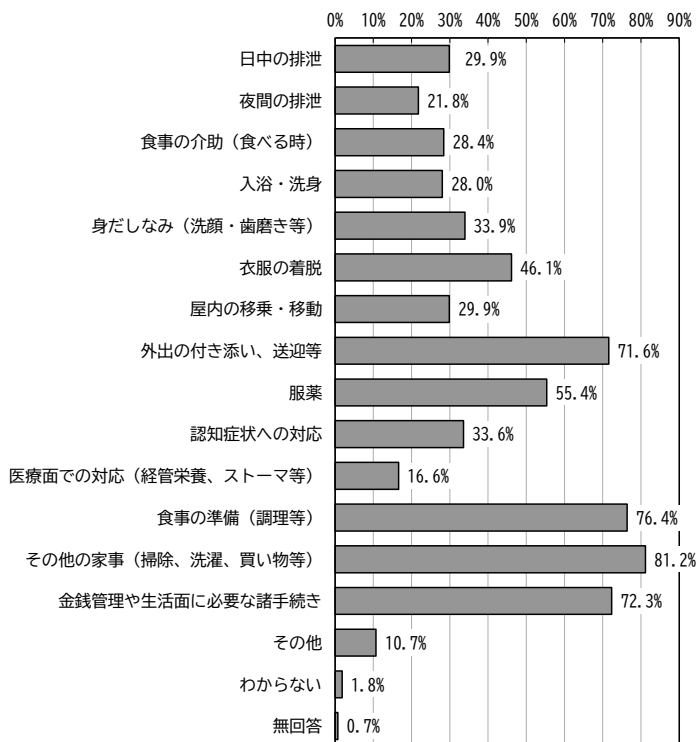
主な介護者の年齢については、「70歳代」が26.2%と最も多く、次いで「60歳代」が23.2%、「50歳代」が20.3%となっています。



項目	度数	構成比
20歳未満	0	0.0%
20歳代	2	0.7%
30歳代	3	1.1%
40歳代	23	8.5%
50歳代	55	20.3%
60歳代	63	23.2%
70歳代	71	26.2%
80歳以上	50	18.5%
わからない	0	0.0%
無回答	4	1.5%
回答者数	271	100.0%
非該当	86	
合計	357	

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

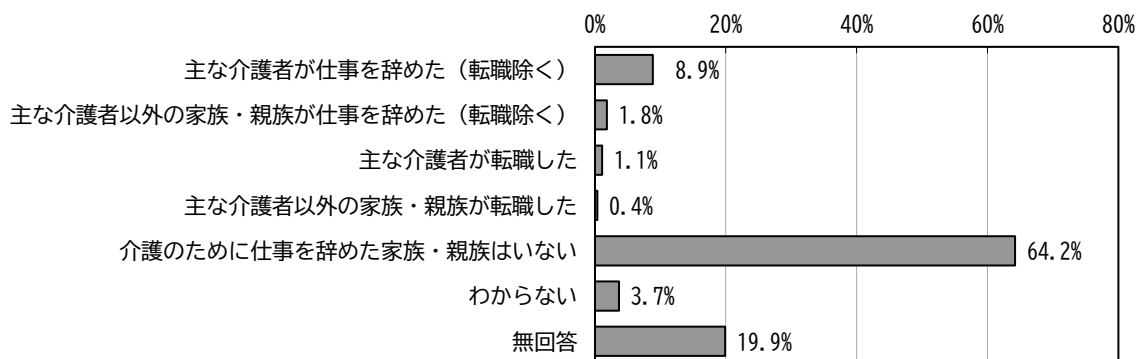
主な介護者が行っている介護の内容については、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が81.2%と最も多く、次いで「食事の準備(調理等)」が76.4%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が72.3%となっています。



項目	度数	比率
日中の排泄	81	29.9%
夜間の排泄	59	21.8%
食事の介助(食べる時)	77	28.4%
入浴・洗身	76	28.0%
身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	92	33.9%
衣服の着脱	125	46.1%
屋内の移乗・移動	81	29.9%
外出の付き添い、送迎等	194	71.6%
服薬	150	55.4%
認知症状への対応	91	33.6%
医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	45	16.6%
食事の準備(調理等)	207	76.4%
その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	220	81.2%
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	196	72.3%
その他	29	10.7%
わからない	5	1.8%
無回答	2	0.7%
回答者数	271	
非該当	86	
合計	357	

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

ご家族やご親族の中で、介護を主な理由として、過去1年間の間に仕事を辞めたかについては、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が64.2%と最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が8.9%、「わからない」が3.7%となっています。

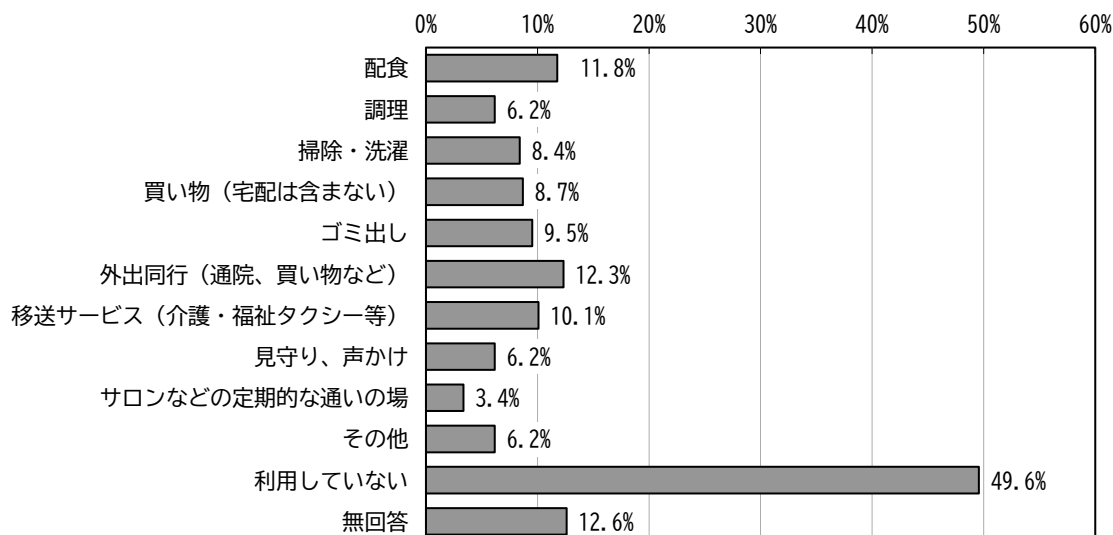


項目	度数	比率
主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	24	8.9%
主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	5	1.8%
主な介護者が転職した	3	1.1%
主な介護者以外の家族・親族が転職した	1	0.4%
介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	174	64.2%
わからない	10	3.7%
無回答	54	19.9%
回答者数	271	
非該当	86	
合計	357	

【ここからまた全員の回答になります】

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください
(複数選択可)

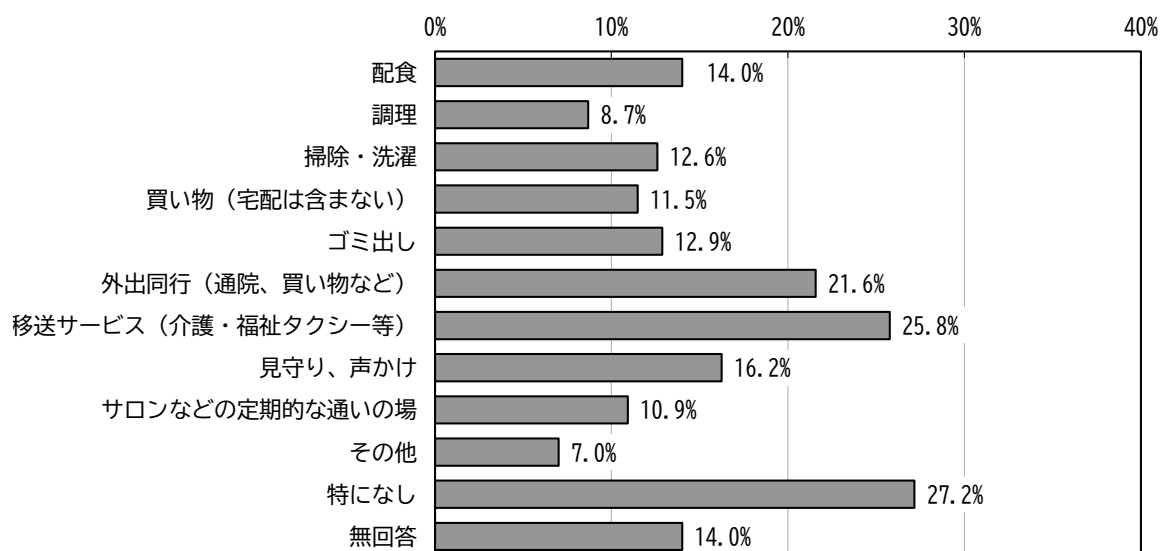
現在利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについては、「利用していない」が49.6%と最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が12.3%、「配食」が11.8%となっています。



項目	度数	比率
配食	42	11.8%
調理	22	6.2%
掃除・洗濯	30	8.4%
買い物 (宅配は含まない)	31	8.7%
ゴミ出し	34	9.5%
外出同行 (通院、買い物など)	44	12.3%
移送サービス (介護・福祉タクシー等)	36	10.1%
見守り、声かけ	22	6.2%
サロンなどの定期的な通いの場	12	3.4%
その他	22	6.2%
利用していない	177	49.6%
無回答	45	12.6%
回答者数	357	

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

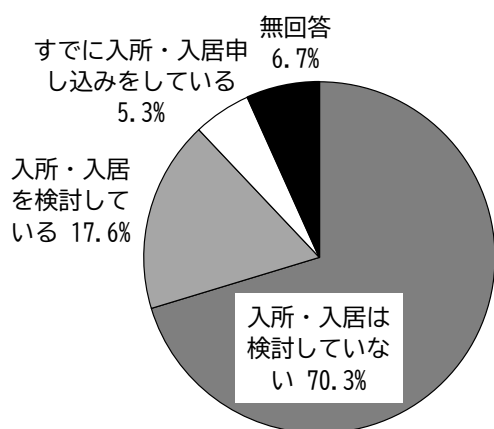
今後の在宅生活の維持に必要と感じる支援・サービスについては、「特になし」が27.2%と最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が25.8%、「外出同行（通院、買い物など）」が21.6%となっています。



項目	度数	比率
配食	50	14.0%
調理	31	8.7%
掃除・洗濯	45	12.6%
買い物（宅配は含まない）	41	11.5%
ゴミ出し	46	12.9%
外出同行（通院、買い物など）	77	21.6%
移送サービス（介護・福祉タクシー等）	92	25.8%
見守り、声かけ	58	16.2%
サロンなどの定期的な通いの場	39	10.9%
その他	25	7.0%
特になし	97	27.2%
無回答	50	14.0%
回答者数	357	

問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が70.3%と最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が17.6%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が5.3%となっています。

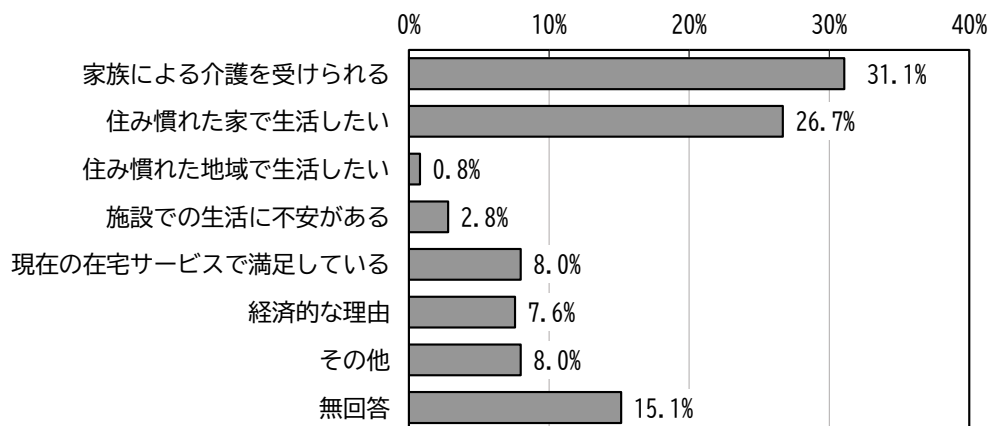


項目	度数	構成比
入所・入居は検討していない	251	70.3%
入所・入居を検討している	63	17.6%
すでに入所・入居申し込みをしている	19	5.3%
無回答	24	6.7%
合計	357	100.0%

【問 10 で「入所・入居は検討していない」と回答した方】

問 10-① 入所・入居を検討していない理由をご回答ください（1つを選択）

入所・入居を検討していない理由については、「家族による介護を受けられる」が31.1%と最も多く、次いで「住み慣れた家で生活したい」が26.7%、「現在の在宅サービスで満足している」が8.0%、「その他」が8.0%となっています。

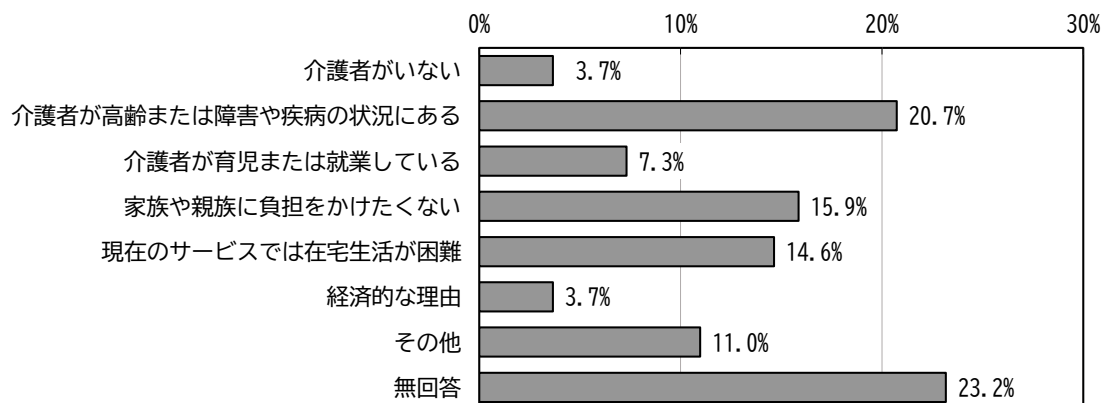


項目	度数	構成比
家族による介護を受けられる	78	31.1%
住み慣れた家で生活したい	67	26.7%
住み慣れた地域で生活したい	2	0.8%
施設での生活に不安がある	7	2.8%
現在の在宅サービスで満足している	20	8.0%
経済的な理由	19	7.6%
その他	20	8.0%
無回答	38	15.1%
回答者数	251	100.0%
非該当	106	
合計	357	

【問 10 で「入所・入居を検討している」または「すでに入所・入居申し込みをしている」と回答した方】

問 10-② 入所・入居を検討または申し込みしている理由をご回答ください（1つを選択）

入所・入居を検討または申し込みしている理由については、「介護者が高齢または障害や疾病の状況にある」が 20.7%と最も多く、次いで「家族や親族に負担をかけたくない」が 15.9%、「現在のサービスでは在宅生活が困難」が 14.6%となっています。

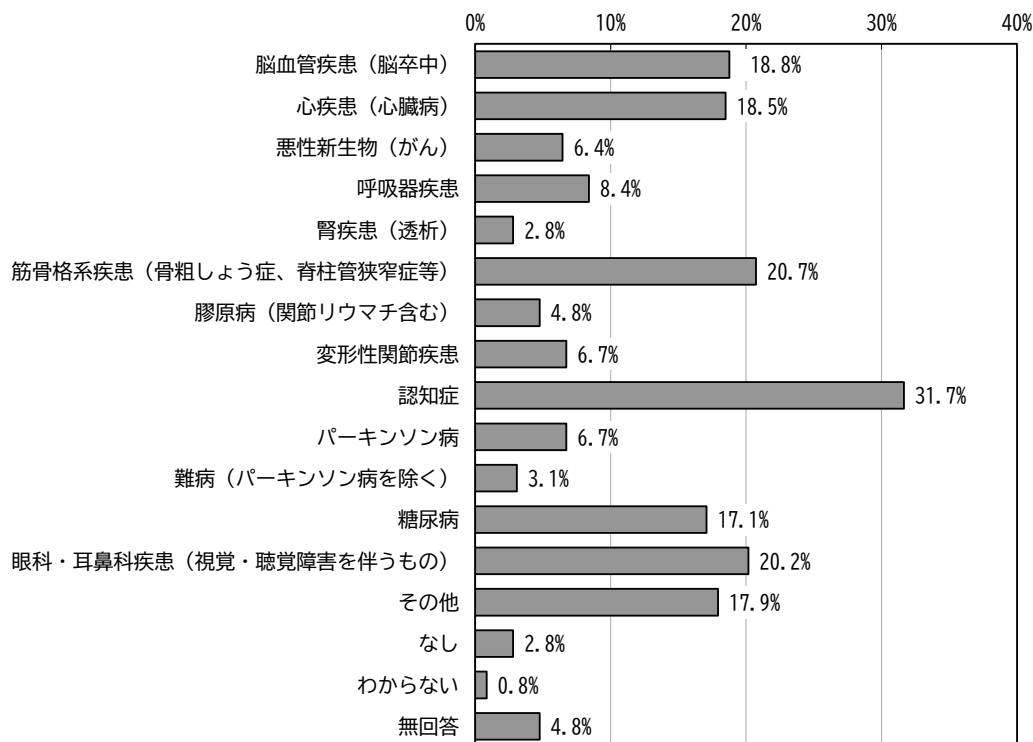


項目	度数	構成比
介護者がいない	3	3.7%
介護者が高齢または障害や疾病の状況にある	17	20.7%
介護者が育児または就業している	6	7.3%
家族や親族に負担をかけたくない	13	15.9%
現在のサービスでは在宅生活が困難	12	14.6%
経済的な理由	3	3.7%
その他	9	11.0%
無回答	19	23.2%
回答者数	82	
非該当	275	
合計	357	

【ここからまた全員の回答になります】

問11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）

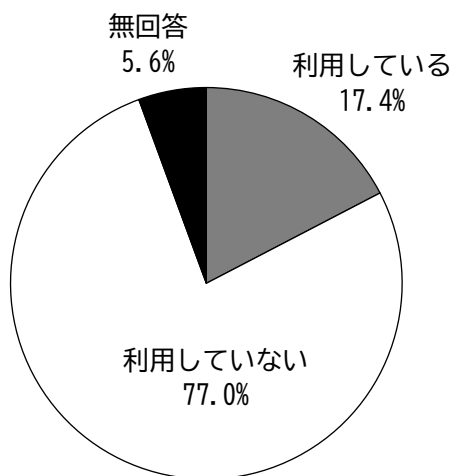
現在抱えている傷病については、「認知症」が31.7%と最も多く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が20.7%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が20.2%となっています。



項目	度数	比率
脳血管疾患（脳卒中）	67	18.8%
心疾患（心臓病）	66	18.5%
悪性新生物（がん）	23	6.4%
呼吸器疾患	30	8.4%
腎疾患（透析）	10	2.8%
筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）	74	20.7%
膠原病（関節リウマチ含む）	17	4.8%
変形性関節疾患	24	6.7%
認知症	113	31.7%
パーキンソン病	24	6.7%
難病（パーキンソン病を除く）	11	3.1%
糖尿病	61	17.1%
眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）	72	20.2%
その他	64	17.9%
なし	10	2.8%
わからない	3	0.8%
無回答	17	4.8%
回答者数	357	

問 12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

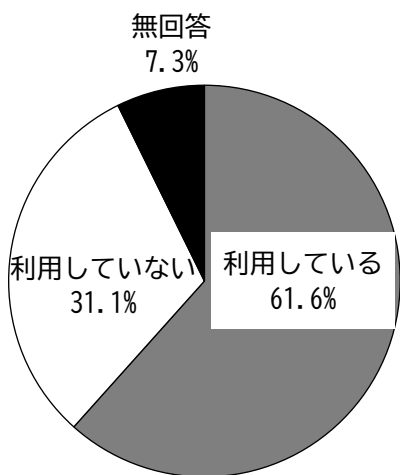
現在、訪問診療を利用しているかについては、「利用している」が17.4%に対し、「利用していない」が77.0%となっています。



項目	度数	構成比
利用している	62	17.4%
利用していない	275	77.0%
無回答	20	5.6%
合計	357	100.0%

問 13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つを選択）

現在、介護保険サービスを利用しているかについては、「利用している」が61.6%に対し、「利用していない」が31.1%となっています。

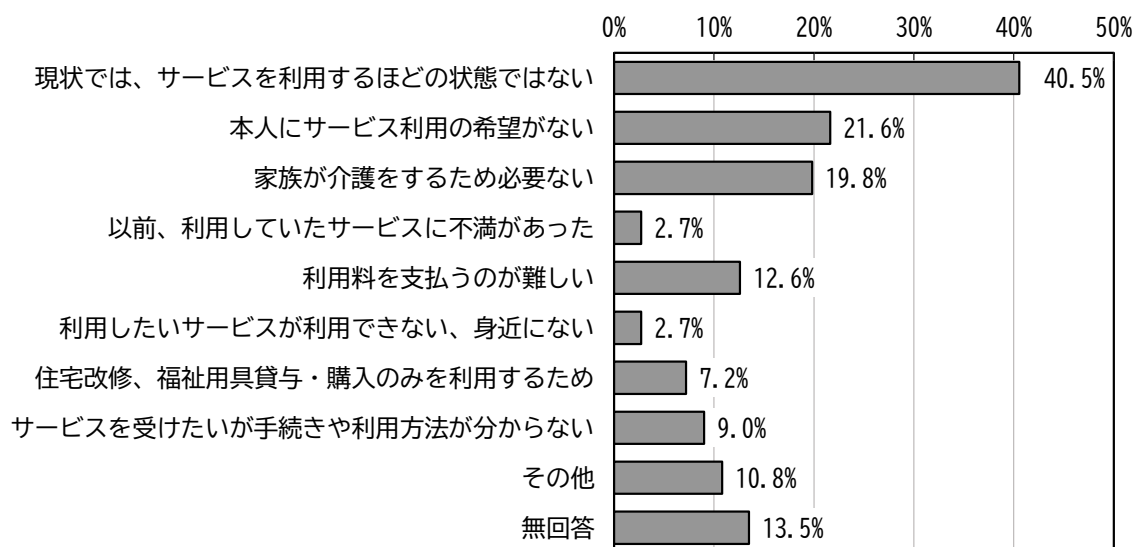


項目	度数	構成比
利用している	220	61.6%
利用していない	111	31.1%
無回答	26	7.3%
合計	357	100.0%

【問13で「利用していない」と回答した方】

問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

介護保険サービスを利用していない理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が40.5%と最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が21.6%、「家族が介護をするため必要ない」が19.8%となっています。



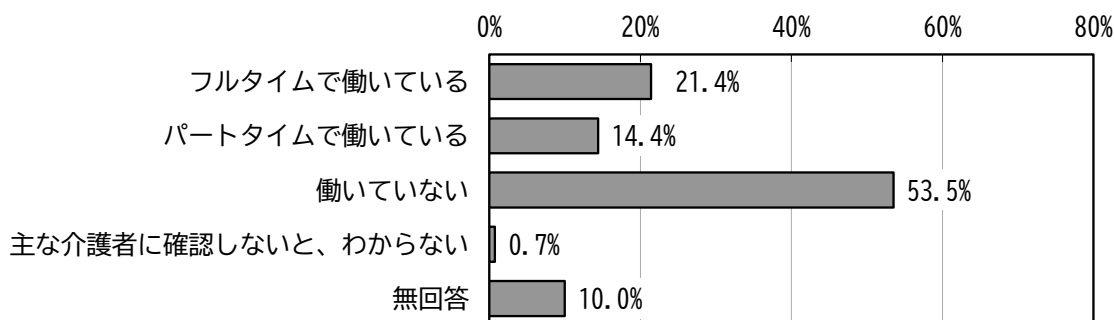
項目	度数	比率
現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	45	40.5%
本人にサービス利用の希望がない	24	21.6%
家族が介護をするため必要ない	22	19.8%
以前、利用していたサービスに不満があった	3	2.7%
利用料を支払うのが難しい	14	12.6%
利用したいサービスが利用できない、身近にない	3	2.7%
住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	8	7.2%
サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	10	9.0%
その他	12	10.8%
無回答	15	13.5%
回答者数	111	
非該当	246	
合計	357	

ここから先のB票は、A票の問2で「ない」を選択した方以外のみ回答となります。

B票 主な介護者の方について

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

主な介護者の現在の勤務形態については、「働いていない」が53.5%と最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が21.4%、「パートタイムで働いている」が14.4%となっています。

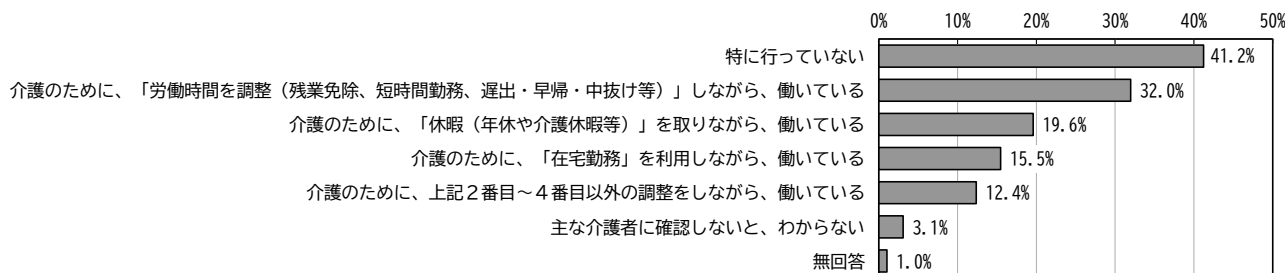


項目	度数	構成比
フルタイムで働いている	58	21.4%
パートタイムで働いている	39	14.4%
働いていない	145	53.5%
主な介護者に確認しないと、わからない	2	0.7%
無回答	27	10.0%
回答者数	271	100.0%
非該当	86	
合計	357	

【問1で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した方】

問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

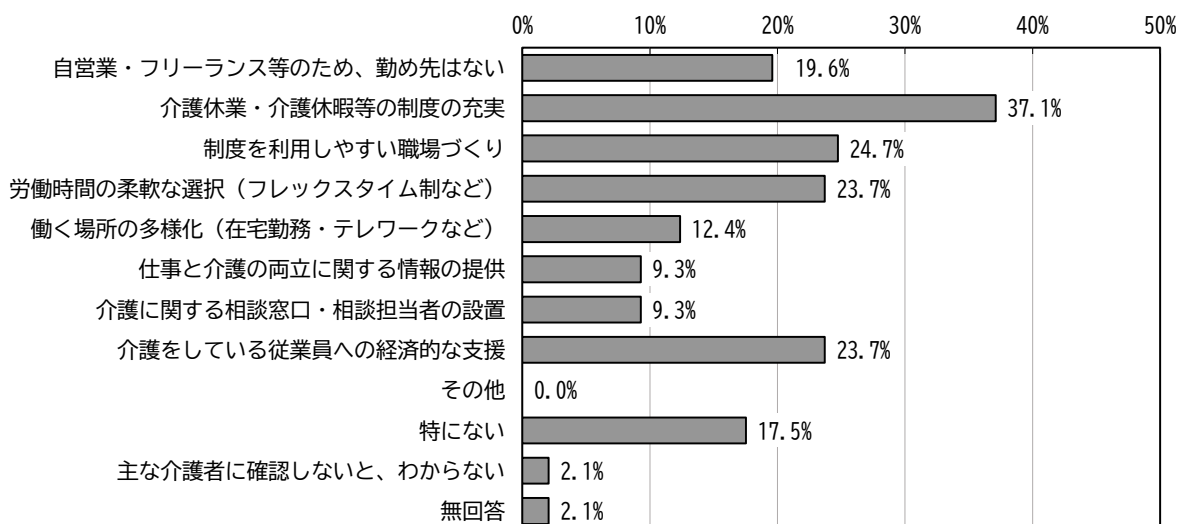
主な介護者の方が介護をするにあたって、働き方の調整等をしているかについては、「特に行っていない」が41.2%と最も多く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が32.0%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が19.6%となっています。



項目	度数	比率
特に行っていない	40	41.2%
介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	31	32.0%
介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	19	19.6%
介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	15	15.5%
介護のために、上記2番目～4番目以外の調整をしながら、働いている	12	12.4%
主な介護者に確認しないと、わからない	3	3.1%
無回答	1	1.0%
回答者数	97	
非該当	260	
合計	357	

問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

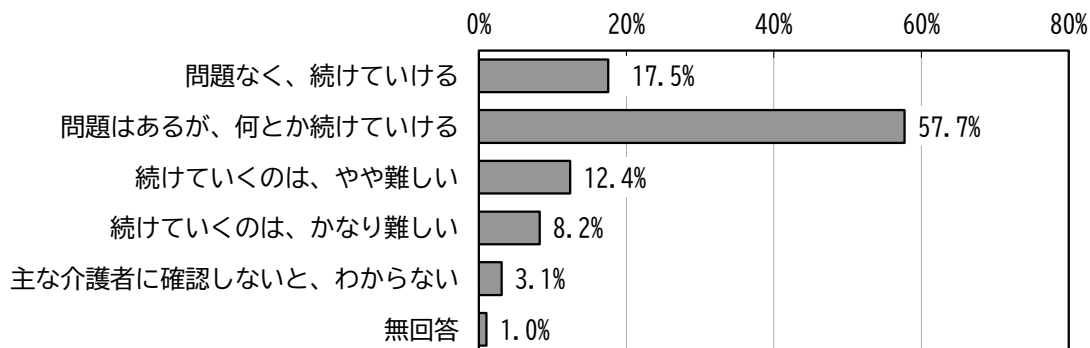
主な介護者は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うかについては、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が37.1%と最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が24.7%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が23.7%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が23.7%となっています。



項目	度数	比率
自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	19	19.6%
介護休業・介護休暇等の制度の充実	36	37.1%
制度を利用しやすい職場づくり	24	24.7%
労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	23	23.7%
働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	12	12.4%
仕事と介護の両立に関する情報の提供	9	9.3%
介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	9	9.3%
介護をしている従業員への経済的な支援	23	23.7%
その他	0	0.0%
特にない	17	17.5%
主な介護者に確認しないと、わからない	2	2.1%
無回答	2	2.1%
回答者数	97	
非該当	260	
合計	357	

問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

主な介護者が、今後も働きながら介護を続けていけるかについては、「問題はあるが、何とか続けていける」が57.7%と最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が17.5%、「続けていくのは、やや難しい」が12.4%となっています。

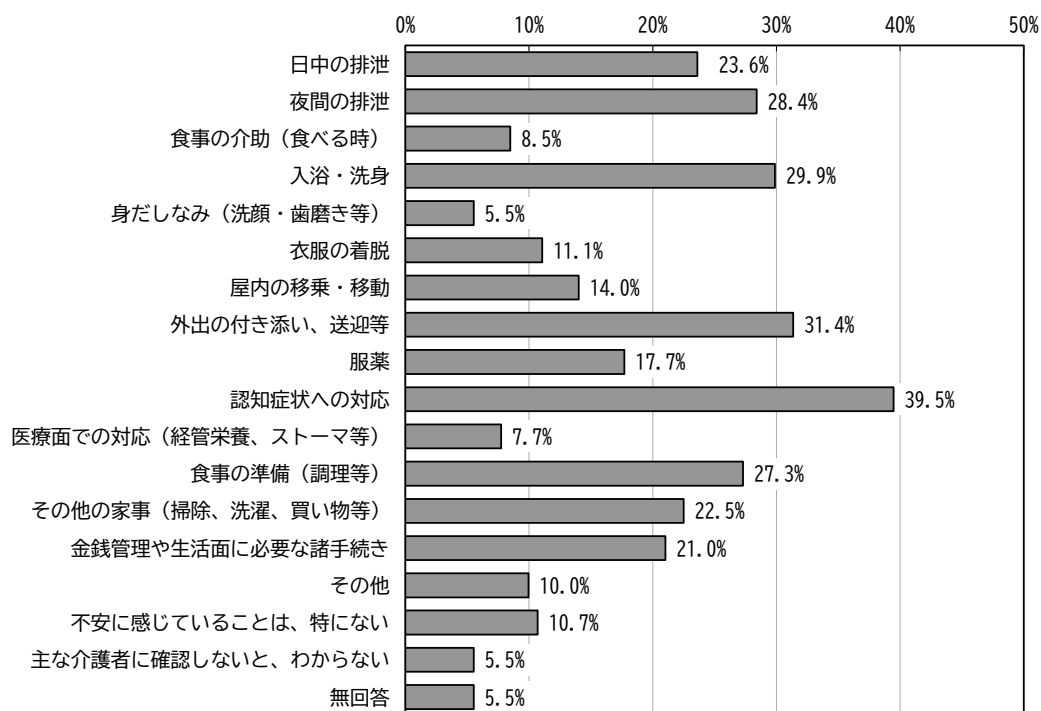


項目	度数	構成比
問題なく、続けていける	17	17.5%
問題はあるが、何とか続けていける	56	57.7%
続けていくのは、やや難しい	12	12.4%
続けていくのは、かなり難しい	8	8.2%
主な介護者に確認しないと、わからない	3	3.1%
無回答	1	1.0%
回答者数	97	100.0%
非該当	260	
合計	357	

【ここからまた全員の回答になります】

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

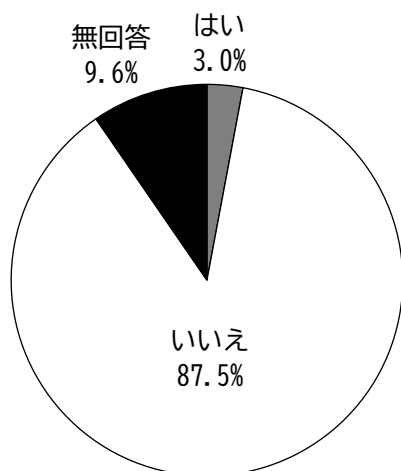
現在の生活を維持していくにあたり、主な介護者の方が不安を感じる介護等については、「認知症状への対応」が39.5%と最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が31.4%、「入浴・洗身」が29.9%となっています。



項目	度数	比率
日中の排泄	64	23.6%
夜間の排泄	77	28.4%
食事の介助（食べる時）	23	8.5%
入浴・洗身	81	29.9%
身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	15	5.5%
衣服の着脱	30	11.1%
屋内の移乗・移動	38	14.0%
外出の付き添い、送迎等	85	31.4%
服薬	48	17.7%
認知症状への対応	107	39.5%
医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	21	7.7%
食事の準備（調理等）	74	27.3%
その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	61	22.5%
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	57	21.0%
その他	27	10.0%
不安を感じていることは、特にな	29	10.7%
主な介護者に確認しないと、わからない	15	5.5%
無回答	15	5.5%
回答者数	271	
非該当	86	
合計	357	

問6 主な介護者の方は、現在小学6年生までのお子さんの子育てをしていますか（1つを選択）

主な介護者で、現在小学6年生までのお子さんの子育てをしているかについて、「はい」が3.0%に対し、「いいえ」が87.5%となっています。



項目	度数	構成比
はい	8	3.0%
いいえ	237	87.5%
無回答	26	9.6%
回答者数	271	100.0%
非該当	86	
合計	357	

【問6で「はい」と回答した方】

問6-① 主な介護者の方は、ダブルケア（子育てと介護を同時に担う状態）であるという認識をしていますか（または認識をしていると思いますか）（1つを選択）

主な介護者の方で、ダブルケアであるという認識をしているかについては、「はい」が5件に対し、「いいえ」が1件となっています。

項目	度数	構成比
はい	5	62.5%
いいえ	1	12.5%
無回答	2	25.0%
回答者数	8	100.0%
非該当	349	
合計	357	

※回答者数が少ない為、グラフを省略します。

問6-② 主な介護者の方は、子育てをしているお子さんについて、最も年齢の低いお子さんの、年齢をお答えください（数字を記入）

主な介護者の、最も年齢の低いお子さんの、年齢については、「6歳～10歳」が4件と最も多く、次いで「0歳～5歳」、「11歳以上」がともに1件となっています。

項目	度数	構成比
0歳～5歳	1	12.5%
6歳～10歳	4	50.0%
11歳以上	1	12.5%
無回答	2	25.0%
回答者数	8	100.0%
非該当	349	
合計	357	

※回答者数が少ない為、グラフを省略します。

問6-③ 主な介護者の方は、ふだん子育てと介護に対して負担を感じていますか（または感じている様に思えますか）（それぞれ1つを選択）

主な介護者の、子育てと介護を負担に感じているかについては、『介護』では、「とても感じている（3件）」、「やや感じている（1件）」を合わせた『感じている（計）』が4件に対し、「あまり感じていない（2件）」、「まったく感じていない（0件）」を合わせた『感じていない（計）』が2件となっています。

『子育て』では、「とても感じている（2件）」、「やや感じている（1件）」を合わせた『感じている（計）』が3件に対し、「あまり感じていない（2件）」、「まったく感じていない（1件）」を合わせた『感じていない（計）』が3件となっています。

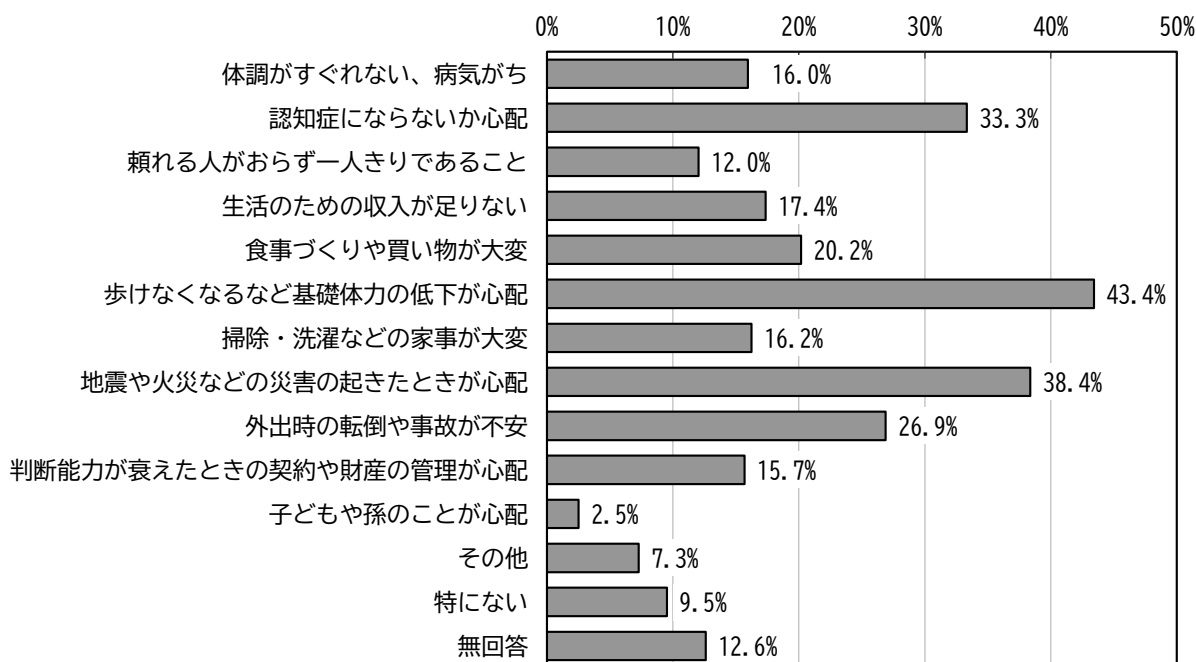
項目（度数）	とても感じている	やや感じている	あまり感じていない	まったく感じていない	わからない	無回答	回答者数	非該当	合計
介護	3	1	2	0	1	1	8	349	357
子育て	2	1	2	1	1	1	8	349	357
項目（構成比）	とても感じている	やや感じている	あまり感じていない	まったく感じていない	わからない	無回答	回答者数	非該当	合計
介護（n=8）	37.5%	12.5%	25.0%	0.0%	12.5%	12.5%	100.0%		
子育て（n=8）	25.0%	12.5%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%	100.0%		

※回答者数が少ない為、グラフを省略します。

C票 主な介護者への質問

問1 主な介護者の方は、日常生活において、不安、悩み、心配ごとはありますか。また、それはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

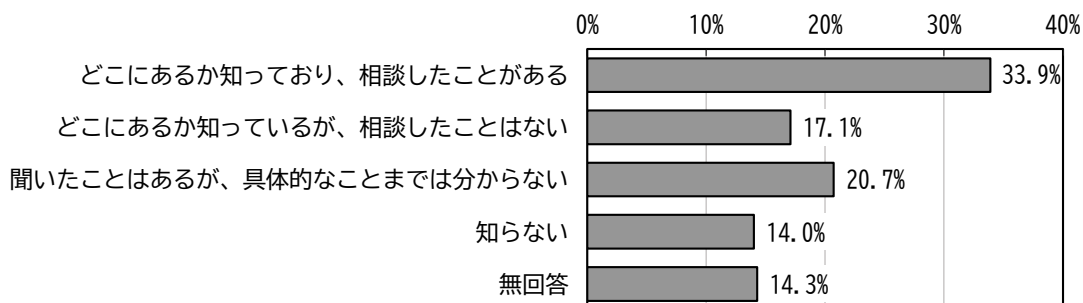
主な介護者の方で、日常生活においての、不安、悩み、心配事については、「歩けなくなるなど基礎体力の低下が心配」が43.4%と最も多く、次いで「地震や火災などの災害の起きたときが心配」が38.4%、「認知症にならないか心配」が33.3%となっています。



項目	度数	比率
体調がすぐれない、病気がち	57	16.0%
認知症にならないか心配	119	33.3%
頼れる人がおらず一人きりであること	43	12.0%
生活のための収入が足りない	62	17.4%
食事づくりや買い物が大変	72	20.2%
歩けなくなるなど基礎体力の低下が心配	155	43.4%
掃除・洗濯などの家事が大変	58	16.2%
地震や火災などの災害の起きたときが心配	137	38.4%
外出時の転倒や事故が不安	96	26.9%
判断能力が衰えたときの契約や財産の管理が心配	56	15.7%
子どもや孫のことが心配	9	2.5%
その他	26	7.3%
特にない	34	9.5%
無回答	45	12.6%
回答者数	357	

問2 主な介護者の方は、町の地域包括支援センターを知っていますか（1つを選択）

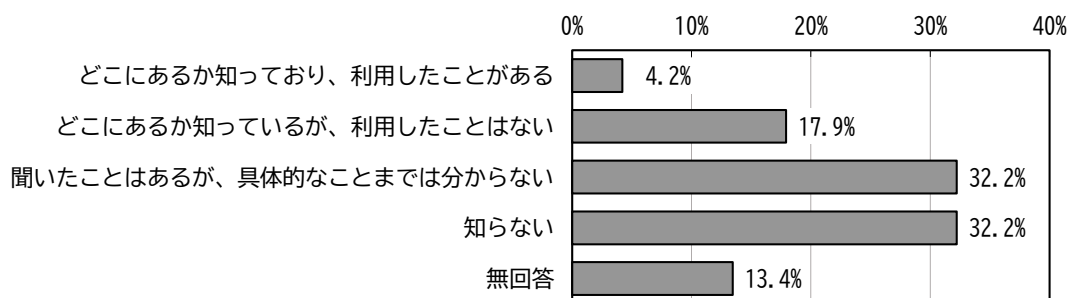
主な介護者の、町の地域包括支援センターの認知度については、「どこにあるか知っており、相談したことがある」が33.9%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが、具体的なことまでは分からない」が20.7%、「どこにあるか知っているが、相談したことはない」が17.1%、「どこにあるか知っているが、相談したことはない」が17.1%となっています。



項目	度数	構成比
どこにあるか知っており、相談したことがある	121	33.9%
どこにあるか知っているが、相談したことはない	61	17.1%
聞いたことはあるが、具体的なことまでは分からない	74	20.7%
知らない	50	14.0%
無回答	51	14.3%
合計	357	100.0%

問3 主な介護者の方は、町の認知症サポートセンターを知っていますか（1つを選択）

主な介護者の、町の認知症サポートセンターの認知度については、「聞いたことはあるが、具体的なことまでは分からない」、「知らない」がともに32.2%と最も多く、次いで「どこにあるか知っているが、利用したことはない」が17.9%、「どこにあるか知っており、利用したことがある」が4.2%となっています。



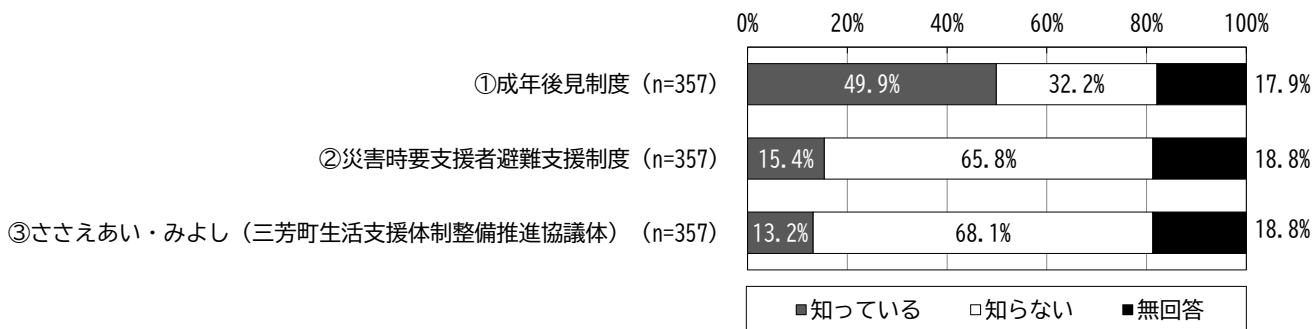
項目	度数	構成比
どこにあるか知っており、利用したことがある	15	4.2%
どこにあるか知っているが、利用したことはない	64	17.9%
聞いたことはあるが、具体的なことまでは分からない	115	32.2%
知らない	115	32.2%
無回答	48	13.4%
合計	357	100.0%

問4 主な介護者の方は、以下の制度や取組のことをご存知ですか（1つを選択）

主な介護者の方の、制度や取組みの認知度については、『①成年後見制度』では、「知っている」が49.9%に対し、「知らない」が32.2%となっています。

『②災害時要支援者避難支援制度』では、「知っている」が15.4%に対し、「知らない」が65.8%となっています。

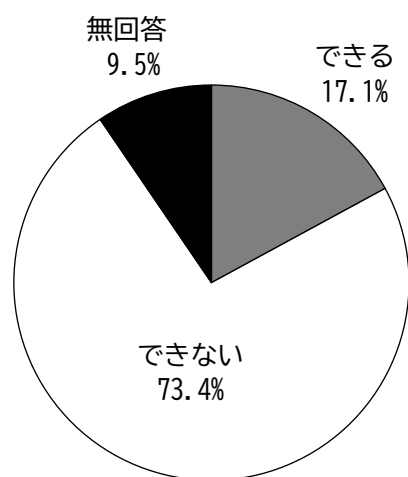
『③ささえあい・みよし（三芳町生活支援体制整備推進協議体）』では、「知っている」が13.2%に対し、「知らない」が68.1%となっています。



項目 (度数)	知っている	知らない	無回答	合計
①成年後見制度	178	115	64	357
②災害時要支援者避難支援制度	55	235	67	357
③ささえあい・みよし (三芳町生活支援体制整備推進協議体)	47	243	67	357
項目 (構成比)	知っている	知らない	無回答	合計
①成年後見制度 (n=357)	49.9%	32.2%	17.9%	100.0%
②災害時要支援者避難支援制度 (n=357)	15.4%	65.8%	18.8%	100.0%
③ささえあい・みよし (三芳町生活支援体制整備推進協議体) (n=357)	13.2%	68.1%	18.8%	100.0%

問5 調査対象者様は、災害や火災などの緊急時に1人で避難することができますか（1つを選択）

災害や火災などの緊急時に、1人で避難できるかについては、「できる」が17.1%に対し、「できない」が73.4%となっています。

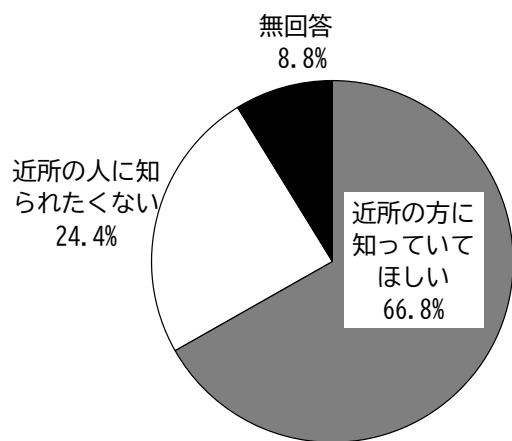


項目	度数	構成比
できる	61	17.1%
できない	262	73.4%
無回答	34	9.5%
合計	357	100.0%

【問5で「できない」と回答した方】

問5-① 調査対象様が緊急時に1人で避難できないこと、調査対象様の住所・氏名・連絡先などの情報を近所の方に事前に知らせておきたいと思いませんか（1つを選択）

1人で避難できない、調査対象様の住所・氏名・連絡先などの情報を近所の方に事前に知らせておきたいと思うかについては、「近所の方に知っていてほしい」が66.8%と最も多く、次いで「近所の人に知られたくない」が24.4%となっています。

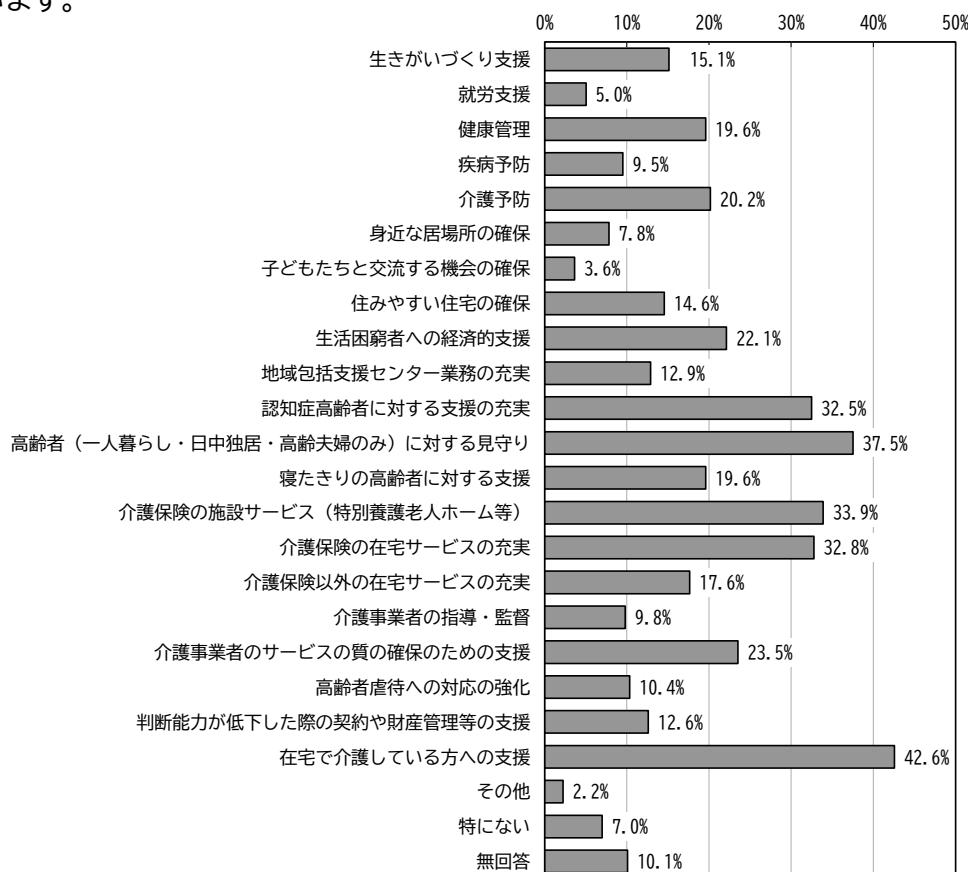


項目	度数	構成比
近所の方に知っていてほしい	175	66.8%
近所の人に知られたくない	64	24.4%
無回答	23	8.8%
回答者数	262	100.0%
非該当	95	
合計	357	

【ここからまた全員の回答になります】

問6 これからの高齢者の保健福祉施策として、行政に力を入れてほしいと思うものはどれですか（複数選択可）

高齢者の保健福祉施策として、行政に力を入れてほしいと思うものについては、「在宅で介護している方への支援」が42.6%と最も多く、次いで「高齢者（一人暮らし・日中独居・高齢夫婦のみ）に対する見守り」が37.5%、「介護保険の施設サービス（特別養護老人ホーム等）」が33.9%となっています。



項目	度数	比率
生きがいづくり支援	54	15.1%
就労支援	18	5.0%
健康管理	70	19.6%
疾病予防	34	9.5%
介護予防	72	20.2%
身近な居場所の確保	28	7.8%
子どもたちと交流する機会の確保	13	3.6%
住みやすい住宅の確保	52	14.6%
生活困窮者への経済的支援	79	22.1%
地域包括支援センター業務の充実	46	12.9%
認知症高齢者に対する支援の充実	116	32.5%
高齢者（一人暮らし・日中独居・高齢夫婦のみ）に対する見守り	134	37.5%
寝たきりの高齢者に対する支援	70	19.6%
介護保険の施設サービス（特別養護老人ホーム等）	121	33.9%
介護保険の在宅サービスの充実	117	32.8%
介護保険以外の在宅サービスの充実	63	17.6%
介護事業者の指導・監督	35	9.8%
介護事業者のサービスの質の確保のための支援	84	23.5%
高齢者虐待への対応の強化	37	10.4%
判断能力が低下した際の契約や財産管理等の支援	45	12.6%
在宅で介護している方への支援	152	42.6%
その他	8	2.2%
特になし	25	7.0%
無回答	36	10.1%
回答者数	357	

自由記述

高齢者福祉や介護保険に関する、ご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にお書きください

- ①すべての利用料金など低料金で利用できるのがありがたい。年金生活でやりくりするのが大変。
②介護に携わる職員などに対してもう少し考えてほしい。(給料人数増加など働きやすい環境)
③独居の人の不安など相談できる窓口。④番号がありアンケートではないと思います。まだまだあります。
- 1人暮らしの高齢者に対して、介護保険でできないことが多い。例えば、趣向品の買い物(酒、タバコ等)、銀行への振り込みなど。
- 20年くらい、デイサービスへ、週3回通所しています。ボケ防止と体力維持に役立っていると思っています。母も90歳を過ぎました。もうそろそろかもしれません。
- 40歳過ぎの男性が、結婚もせず両親の病気の為、無収入にて、両親の年金(低収入者)で、介護に全力をつくしている。親子で血が結ばれているとはいえ、県の条例を一部変更し、安くて良いから、介護を一生懸命続行している人に、支払うような法律があると良いですね。県知事様県会議員様会議員様町会議員様方々。
- いろいろと意見があり大変と思いますが、頑張って町の発展を祈っています。
- ケアマネの力量に凄い差がある。
- これからますます高齢化が進みます。施設入所は良い事ですが、やはり在宅介護が一番です。従って在宅介護がもっとできるよう、在宅介護サービスの充実を図ってください。
- なんとか立つ、座る等ができるときは良いが、節々が痛み動くことが困難になる時があり、そうになると介護者の力ではどうすることもできず、途方に暮れることがあります。又、在宅勤務が終了に伴い仕事を辞めたので、経済的にも不安を感じています。
- ライフバスが通り、ありがたく利用しています。いつもガラガラなので申し訳ないと思っていますが、1時間に1本くらいの間隔であるといいなと思っています。
- 安心して入所できる施設を沢山造るのも結構だが、自分ではできる限り住み慣れた場所で、一人暮らしを続けたい。それが一番幸せなように思う。身体が思うように動かなくなっても、チョットした助けがあれば、出来ると思う。そして自分もできる事があれば、他の人のために役立ちたい。
- 以前試行していたデマンドタクシーは、とても便利で助かり、利用させていただいていましたので、又ご検討願えればありがたいです。
- 医療費が高額なので、病気が長期になると心配があります。
- 一人で外出することは出来るが、移動手段がない。
- 一番は、経済的支援だと思う。病院の拡充、今は混んでいるし、IMSしかない状態はおかしい。電気代の支援。子供支援と同等の老人支援を求める。昨年、3月末に引っ越してきて、福祉制度がわかりません。又、今回介護度が3→2に変更になりましたが、介護者である私の負担は、何ら変わりません。今後、老老介護への不安は多々あります。
- 家に1人でのいるのは危ない為、デイやショートを利用しています。特養にも申し込みはしているが、5年以上も待っている状態です。金銭的にもだんだんと余裕がなくなっていて、そのうち家族からの負担が必要になっていくと思います。家族にも、学生の子供が居て大変です。少しでも支援してほしいと思いますし、特養の待機も減らしてほしいです。
- 介護の充実。

- 介護業者と医師との連携は必須と思いますので、高齢者の些細な異変を見落とさない様、訪問時の観察等に対し怠らない様宜しくお願いします。
- 介護をしている者です。母は認知症で今、病院に入院中です。コロナ禍で外に出られなくなり、すぐ骨折し入院しました。今は病院にいる状態ですが、退院した時のことを考えると不安です。介護する者は、フルタイムで勤務しているため、自宅で介護は難しいです。特養などは、認知症患者は受け入れしてくれないと聞いています。自分も 50 代となり、今後元気に地域で暮らしていけるような町を作ってほしいと思います。
- 介護事業者のスタッフ不足が深刻と聞きます。ヘルパーさん等の介護サービスが、ストップしてしまうと利用者は大変困るので、介護事業者及びスタッフの皆さんへの、継続した支援をお願いしたい。
- 介護認定が低くなくても今まで通り、通所介護施設に通えるようにしてほしいです。
- 介護認定決定に対して、家族の意見をもっと聞いてほしい。(本人は他人に対して良いところを見せる傾向があるため結果に不満)
- 介護保険は介護の程度要介護 1、2、3によって点数があると思いますが、私が仕事の時は、毎日デイサービスを母が利用しており、毎月ギリギリの状態で、ケアマネさんに一か月のスケジュールを作成してもらっていますが、もう少し保険以内に出れば良いかと思います。
- 介護用品(おむつ、ポータブルトイレの紙パックなど)が高い。毎日使用する。
- 近所で一人暮らし又は老夫婦二人で、思うように歩けない人(杖等を使っている)や、夫または妻が一人で家事をしている人(相手が病気を持っている)、介護サービスを受けずに暮らしている人が何人かいるので心配。それ程親しくないのに、立ち入りしづらい。
- 健康保険が1割から2割負担になり、医療費が大変。そのうえ、世帯主が2割だと、その妻も2割になるのが納得いかない。
- 現在、子の配偶者と2人で94才の母を介護していて、六月で娘が退職の予定のため、介護費用に心配が出そうである。老齢介護になるので心配。
- 現在デイサービス、ヘルパーを利用していますが、中、長期のステイで今まで通りのヘルパーさんが戻って来てくれるかわからないので、ステイの利用を控えている。介護3ですが、特養に入りたいが空きがない。
- 現在の生活保護制度と介護、認知症者、介護保険、年金生活者とのリンク。介護者への速やかな支援の確保。医療、介護年金、各情報の一本化。要介護者の年金額が低い状況での経済的支援または生活保護への移行。(施設入所者支援)
- 現在は、トイレ、身の周りのことは全部自分で出来ているのですが、将来的に出来なくなり、認知症になった場合は、施設への入所も考えないといけないかもしれません。介護者の足に痛みがある(体力的問題)ので。なるべく自宅ではと思いますが、入所の時は安心できる所であってほしいです。
- 現在次男と同居の為、何かと家族で解決できると思っています。
- 現場の介護従事者様には、日々助けられており、感謝しております。サービス利用料について、自己負担額とは別に、任意で支払い、上乘せできてもいいかなと思いました。貧困者は不幸であれ、という福祉の精神が嫌いです。
- 個人的には、なるべく公費にお世話にならないように、若いうちに健康管理に気を付けて来ましたので要望はないです。

- 個人リハビリの、金銭的なサポート。(歩行サポート器具のレンタル料金)
- 高齢者で運転免許のない人が多いので、タクシー券を増やしてほしいです。
- 高齢の一人暮らしです。子供さんたちと交流の機会がほしいです。お話を開きたい。介護の方々には、とっても良くして頂いているので、私としては「お話し会」に子供さんをお招きして日本の民話をたくさん聞いて頂きたいです。
- 高齢者の、生活を豊かに、充実したものにして頂きたいです。高齢者が車の心配(ぶつかるなど)をしなくても良いように、幹線 22 号線(川越街道からみずほ台駅に向かう道路)の歩道整備を早急に進めて頂きたいです。歩く事は、高齢者の健康にとっても大切です。キムラパン工場跡地に、激安スーパーが建設されると、ますます危険な道路となり、高齢者が外出できなくなります。福祉や介護として住みやすい街作り、お出かけしたくなる道路にしてください。川越街道から鶴瀬駅までの、道路との格差が開き過ぎだと思えます。
- 高齢者の増加により、(住み慣れた所に居たい希望者)の増加で、在宅介護が多くなるならば、老々介護も増えると思う。(在宅サービスの充実)対策と対応に期待します。
- 高齢者への財政は、厳しいものがあると思いますが、誰もが安心して老後を暮らせることが出来ればありがたいです。困っている人を見てくれる、声をかけてくれる社会を望みます。
- 埼玉へ来て 13 年、妹の家に居ます。妹は施設にいて、家には居ません。私一人で住んでいます。私にはこの書類が来なかったので、私が書いて出しています。よろしくお願いします。
- 今、デイサービスを週 3 回利用させていただいております。毎日ですと、色々ストレスも溜まるので、本人にとってもまた、介護する私にも適切だと思っています。今後、寝たきりまた認知症などになったら、介護施設入居を考えています。
- 在宅介護が困難になった時、すぐに施設に入居できるよう、受け皿を増やして充実させていただきたいと思います。介護者の精神的負担が大きいので支えていただけるケアをお願いしたいと思えます。
- 在宅老々介護の介護は過酷です。脳卒中+認知症が合体すると、介護者は睡眠と自由がなく、体力が低下し、とも倒れになることでしょう。今は周りの者や、家族の助けで生活していますが、近い将来は 1 人に成ることを覚悟していますが、介護される者と介護する者とが、安心して生活できる空間がある施設があると、楽しい日々になるのかなと夢物語を見ていますよ。
- 昨年 11 月より、オムツ給付をして頂いております。ライフリーうす型軽快パンツ 30 枚と、ライフリー紙パンツ専用尿取りパッド 46 枚が毎月配達され便利ですが、半分くらい未使用の月もあります。出来ればオムツのみでなく、他の品目(ポータブルトイレの消臭液、除菌用ウェットシートなど)も予算内の金額で増やして下さい。(紙オムツの枚数を減らし他の品目にあてる)この先、どのくらいの紙パンツ、パッドの、使用枚数が増えるかわかりませんが、現在の枚数ですとストックがかなり増えそうで置き場所に困っています。
- 三芳町内に、リハビリや介護施設などが少なく、隣町の施設を利用する事になるので、町内に気軽に行ける施設等があったら良いと思えます。
- 三芳町役場、特に健康推進課には、年々高齢の生活者の実態の把握と、その対応を迅速に実行して頂き、大変ありがたく存じます。今後ともよろしくお願いいたします。
- 私どもの家庭も老々介護です。介護者がいつ動けなくなるか、認知になったら、介護のために施設利用をしていますが、利用料金支払いも工面している状態です。介護は社会でと保険制度が出来ましたが、基本に立ち帰ってほしいと願います。

- 昨年12月1日～介護有料ホームに主人と共に、みよし悠生苑に入居しています。
- 私は難病で障害者1級ですが、障害者に対する支援をもう少し援助してほしい。(税金など)生活に関する備品など。
- 実は親が記入したのですが、支援を受けている認識が、全くないことが解りました。選択とゴミ出し(分別)は、ほぼ不可能。着るものも、毎日同じものを着てしまいます。薬は声かけしないと飲み忘れます。
- 主人が脳梗塞で入院することになり、半年近く入院になり、子どもの協力がないと、とても1人では対応できませんでした。私も、パーキンソン病なので大変でした。子供の会社が少し休みをくれたので1週間か10日くらいは(特別休暇)にしてくれれば大変助かったと思います。※近所の方の協力も非常に助かりました。声掛けをしてくれたり訪ねてきてくれたり心強かったです。
- 少子化で、介護者となりうる子が、平均的に、実子1名+その配偶者で勤め人であることを考えると、同居の在宅介護は現実的ではない。かたや特養は実質的には要介護4以上でしか入居できない。となると、高齢者の居場所がなくなってしまう。施設サービスの増設をお願いしたい。
- 即、実施は困難の事と思いますが、1つ1つ要望案に対して、あつという年齢が来ます。順送りに来ますので、介護される人、される人生がいのある人生。オマエは100まで、ワシは99まで。楽しい事は待っているだけでは来ませんが、苦しみは突然来ますので。
- 色々ご苦労様です。今後よろしく願いいたします。
- 生き甲斐があるころまでは良いが、その希望が無くなり、延命処置をしないで、自然に楽になれるような、法律ができるとよい。
- 生活保護を受けているのであまり言えません。
- 相談してもどうしようもないので(やるしかない)、仕事をしていると思ってやる時があるので、このまま変更なく介護保険が使えるのが望ましいです。
- 相談しにくい面がある。在宅介護をしている人間への、支援も力を入れてほしい。(生活面、精神的な面で)
- 担当者にコーディネートしていただき、昨年7月1日まで「つるせ台の里」にデイとして通わせていただいていたいました。本人は出かける時「会社に行ってくる」と、生き生きと利用させていただき、大変感謝しております。7月1日にデイの途中、2回目の脳梗塞で倒れ、現在南古谷病院に入院中。なので、本アンケートの内容について回答することができませんので、よろしくお願いいたします。
- 値上げをしないでください。
- 町内施設、病院、スーパーなどを巡回する小さいバスを動かしてください。もっと気軽に出かけられるようになると思います。介護用品の貸し出し料が、安価だといろいろ借りられて便利になって嬉しい。
- 通院で紹介状がないと初診料が高い。介護タクシーの料金が高い。(何とかしてください。)
- 亭主より。自分の方が長生きすると思っているが、年は2年上である。最後まで婆さんの面倒は見るつもり。
- 特別養護老人ホームの対象が要介護3以上は厳しすぎます。
- 入院中の為、お金の支援をしてください。病院への交通費も必要です。
- 認知症の介護が、こんなに大変だと思もしなかった。日に日に行動が変わって、出来るならば、少しでも安い施設があればと思っています。老老介護は大変です。

- 認知症サポート講座などを休日にやってほしい。
- 認知症高齢者に対する、支援や施設の充実。介護にあたる人たちの支援をお願いします。
- 認定が1～2、3～5（介護手すり、階段）などは、1～2の方はより高く、おむつも3になるといただけるとのこと。1～2でもおむつが必要な方には無い。私は2回目の介護ですが、母の時に手当も少し出してくれて、とても楽しくお話などもよくする事が出来ました。
- 買物不便交通もない。
- 民生委員をうごかしてほしい。全然来ない。
- 病院への通院などの交通手段が、便利、簡単、安い、となると良いと思う。
- 夫婦という実情であるが、妻もおかしくなってきた。障害児（55歳）をどのようにしていくか。
- 普段通っている施設の皆様には、とても良くしていただいています。助かっています。介護の仕事をしている方々の苦労を考えますと、いろいろな面で、公的な援助が必要だと思えます。働いている方々を支える支援が、利用者の為に必要だと思っています。
- 負担金額が高すぎる。
- 福祉のタクシー券、あれは使えません。まず一回一枚会社により違いますが、家の場合、車いすなので車に乗るまでに一枚、もうそれで自費になり、近くのスーパーまで行くのに軽く2,000円以上はかかるので、ほぼ使っていません。もう少し福祉課の人も、やる気を出して取り組んでほしいです。
- 歩行障害者ですが、宮公庁に出向する場合の交通手段の検討をお願いします。
- 本人が行きたがらない。自立できていないので、迷惑をかけるので。車酔いもするので。
- 本人の収入があるからと言っても、3割負担は高すぎると思う。介護料金が多いため、自分達に収入がなかったら、父親の収入があっても生活が厳しくなるため、もっと介護料金を見直してほしいです。
- 本人の尊厳を守れる介護をお願いしたい。たとえば入浴シーンで服を脱ぐ行為や、排せつの処理に関しても、本人のプライドを考慮できるような、スタッフの教育を充実したシステム作りをお願いしたいです。よろしくお願い致します。
- 役場、ジムに通うための交通手段を。健康保持の為にジム通いが、バスの便が少ない為に不自由している。高齢者のために、自転車も危なくなりあまり乗らないようになった。
- 要介護3になり、おむつをいただいているが、業者を通すのではなく、薬局で使えるカード等にしてほしい。歩けない人にはいいかもしれないが正価なので少ない。
- 老健や施設へ、困った人にすぐに入所できるようにしてほしい。今のままで自宅での介護の負担が大きすぎる。
- 老老介護は辛いし、24時間休息ができません。
- 特にありません。【同様 2件】

三芳町
在宅介護実態調査報告

令和5年3月

三芳町 健康増進課 介護保険担当

〒354-0041 埼玉県入間郡三芳町藤久保185-1

TEL : 049-258-0019

FAX : 049-274-1051
